

掛川信用金庫と地域社会

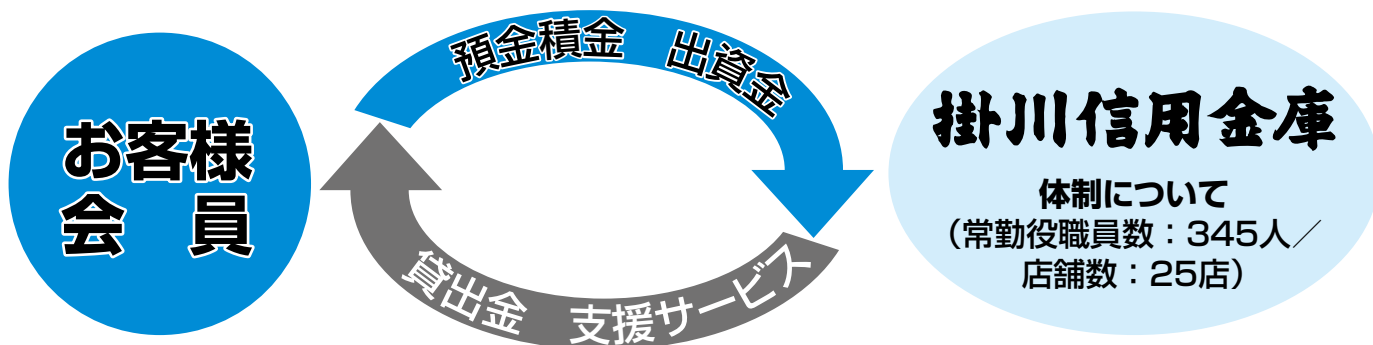
会員数
20,718人
出資金残高
【609百万円】

●預金積金に関する事項● (地域からの資金調達状況)

当金庫は、地域金融機関としてお客様本位の業務運営に努めており、地元の中小企業・地域の皆様に多くのご信頼をいただき、お蔭様で預金は順調に増加しました。

ご利用目的に合わせて決済用預金、定期預金、定期積金等幅広く商品を取り揃え、お客様の資産形成にお役立ていただいております。

預金積金残高【384,371百万円】(12、23ページ参照)



●貸出金(運用)に関する事項● (地域への資金供給状況)

当金庫は、地域社会への円滑な資金供給を実施するため、平成28年10月1日に融資推進部を新規創設しました。活力ある地域経済の実現を目指し、平成28年度も引き続き「地域密着型金融推進計画」に基づき、ご融資を通じて地域の中小企業の健全化へのサポートや経営支援に向け、全店あげて以下の取り組みを積極的に実施致しました。

1. 中小企業金融への取組み

中小企業の多様な資金ニーズに、手形(電債)割引、手形貸付、証書貸付、当座貸越等でお応えするとともに、企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価(事業性評価)し、ご融資する「新企業強化支援資金」の取り扱いを開始しました。

また、地場産業である茶業活性化のため、「茶業資金」の取り扱いも積極的に行っております。さらに、信金中央金庫、日本政策金融公庫等と業務提携した商品もご用意してお客様の幅広い要望にお応えしております。

そして、地域の中小企業に適した資金供給の実現、創業・新事業の展開等をご支援するため、職員の目利き能力を向上させ、お取引先の適正な評価及びキャッシュフローを重視するとともに、融資統合システムの導入による融資審査態勢の強化を実施しております。なお、平成29年3月31日現在の貸出金に占める事業資金の割合は、70.2%となっております。

2. 消費資金への取組み

個人のお客様には、新9大疾病保障の付保可能である「しんきん住宅ローン」、不動産担保を不要とした「無担保住宅ローン」において、金利を優遇させた「プラチナキャンペーン」の取り扱いを開始しました。さらに、地域内の事業所経営者様・従業員様との取引深耕を図るために職域サポート融資である「プレミアムローン」の取り扱いも開始しました。地域の皆様の要望にお応えし、さらに文化的で豊かな生活を送るためのご融資に積極的に取り組んでおります。

3. 金融円滑化への取組み

中小企業金融円滑化法の期限到来後も対応方針が変わりなく、全店に「条件変更相談窓口」を設置し、お客様からの融資相談に積極的にお応えするとともに、「金融円滑化のための基本方針」を作成し、ホームページ等で公表するなど管理体制を整備し、積極的に新規融資や貸付条件の変更等に取り組んでおります。

その結果、法施行日の平成21年12月4日から平成29年3月31日までの間に条件変更を受付した中小企業者向け融資は14,212件、住宅ローン向け融資は184件となりました。

上記の取組み強化のための研修や中小企業診断士の育成等を通じて、役職員の人材育成並びに資質向上に努めております。

また、当金庫では、融資等の業務相談窓口を全営業店(アピタ掛川出張所を除く)に平日の業務終了後の午後5時まで、アピタ掛川出張所においては、毎日(土・日・祝日・祝日を含む、ただしアピタ掛川の定休日を除く)午後8時まで設け、お客様のご相談等にお応えしております。

今後とも会員の皆様へのご融資を基本とし、中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて地域密着型金融機関としてお役に立つよう努めてまいります。

貸出金残高【135,538百万円】(12、18、23ページ参照)

預金積金に占める貸出金の割合【35.26%】(19ページ参照)

当金庫の地域貢献に対する取組みについて

当金庫は地域に根ざした金融機関として信用金庫本来の使命を達成するため、基本理念である「中小企業の健全なる発展、豊かな国民生活の実現、地域社会の繁栄への奉仕」を旨として本業に徹した経営を続けております。

※計数は平成29年3月末現在

●貸出金以外の運用に関する事項●

預金積金が堅調に積み上がり、余資運用残高は増加しました。余資運用は、信金中央金庫預け金と有価証券の運用を主としています。有価証券は国債、政府保証債を中心に運用し202,914百万円となりました。

なお、有価証券の運用につきましては、安全性第一を心掛けております。

余資運用残高【286,997百万円】

余資とは預金積金等の内、貸出金以外への運用資金をいいます。

(12・23ページ参照)

●今期決算に関する事項●

損益においては、利回りの低下により貸出金利息や預け金利息が減少しましたが、有価証券の運用により増収となり、経費節減もあり、当期純利益は増益の1,227百万円となりました。

(12・26ページ参照)

●取引先への支援等●

(地域との繋がり)

当金庫では、厳しい経営環境下にある地域中小企業の経営健全化に向けた支援に積極的に取り組んでおります。平成28年度は、取引先企業のうち本部支援先31先と営業店支援先36先の合計67先の経営改善支援先とともに、営業店職員や本部企業支援係が財務内容改善のための対策を協議し、また中小企業再生支援協議会等の外部機関との連携をはかり、合理的かつ実現可能性の高い経営改善計画の策定支援に取り組んでまいりました。

平成28年10月より、非常勤嘱託の相談員として公認会計士を招聘し、事業承継などに対する相談業務を強化致しております。

お客様の健全な資金ニーズに対しては、担保・保証に過度に依存することなく、積極的かつ迅速にお応えできるように日々努めております。その結果、平成28年度中には、当金庫独自商品である「新企業強化支援資金」により83件21億65百万円を地元中小企業の皆様にご利用いただくことができました。また、信用保証協会の利用推進では、411件21億91百万円のご契約をいただくことができました。

地域活性化への貢献にも積極的に取り組み、地場産業である「茶業」に携わる事業者様を対象とした講演会を20年以上にわたり継続的に開催しており、平成29年3月には「経済のゲンキを掘り起こす～元気経営のヒミツはこれだ!」と題し、日本一明るい経済新聞編集長にご講演いただきました。

地域の事業所の若手後継者で構成された「かけしん経営者協議会青年部会」の活動も積極的に支援し、後継者の経営能力向上を目的とした講演会・勉強会の開催に関わり、異業種交流の機会を提供することで地域間の情報交換などに役立てて頂いております。平成28年6月に開催された通常総会では、一般社団法人中東遠タスクフォースセンターより講師を招き「中東遠タスクフォースセンターの活動」についてご講演を頂き、多くの参加者からご好評をいただきました。

「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく、地方創生の推進に向け地元各自治体との業務連携を進め、協力して地域経済の活性化に取り組んでおります。

「振り込め詐欺」被害防止策として、営業店女子職員25名を「安全レディ」に任命し、毎月15日にATMコーナーでの携帯電話の使用自粛の呼びかけ、キャッシュカードによる振込限度額の変更手続きの推進や所轄警察署の指導による振り込め詐欺等被害防止のための声掛け訓練等を実施しました。

文化的・社会的貢献に関する事項

(1)安全レディ

営業店の窓口などを担当する女性職員25名を安全レディとして任命し、お客様の振込め詐欺被害防止、交通安全、防犯などの安全活動に取り組んでいます。

(2)環境への取り組み

毎年、小さな親切運動（クリーン作戦）に参加しており、町の中のゴミ拾いを実施して清掃活動に励む一方、植樹・森林整備等のいわゆる里山づくり活動も行いました。

(3)福祉活動

赤十字血液センターへの献血協力や、「掛川市ふれあい広場」へのボランティア・スタッフ参加を行っています。また、聴覚障がい者の方々にも安心してご来店いただけるよう「耳マーク」を導入しています。

(4)地域活動への参画

当金庫役員及び各支店長は商工会議所、商工会の活動、法人会活動、ライオンズクラブ、電信電話ユーザ協会等の地域団体活動に、会員あるいは役員として積極的に参加しております。

(5)地域行事への参加

各地域の美化運動等の行事へ積極的に参加をしており、好評を得ております。

(6)文化振興への支援

「第66期将棋王将戦」に協賛しております。また、子どもたちのための「ファミリーコンサート」にも協賛しております。

(7)スポーツ振興への支援

少年スポーツ育成のための「かけしん杯中東遠少年野球掛川大会」を共催、「掛川新茶マラソン」「掛川市城下町駅伝競走大会」へも協賛しております。

